

令和8年度

由岐中学校伊座利分校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○将来への見通しをもち、主体的に学習に取り組む生徒の育成
○ICT機器を効果的に活用した授業実践

校長

中川 英治

学力向上推進員

研修主任:杉谷 操

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

全教職員による授業参観・研修等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業に真剣に取り組む、与えられた課題に真面目に取り組むことができる。 ●学習内容を既習の知識と関連づけて理解を深めたり、知識・技能を活用したりすることが苦手な生徒がいる。	①授業内容について、進んで質問し、理解を深めたり、疑問を解消したりしようとする。 ②学習内容を既習の知識と関連付け、生活場面や新たな課題に取り組む際に活用できる。	①ICT機器の活用・ふりかえり・小テストの実施など、生徒の理解を把握し、個に応じた支援を行う。 ②活用問題を計画的に授業で取り上げ、取り組み方を例示したり、対話的な学びを取り入れたりして、生徒が主体的に取り組めるように工夫する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○短文でパターン化された課題に対しては、意欲的に取り組み、習得も比較的速い。 ○行事後の感想文や日々の日記などの短い文章は書き慣れてきて、スムーズに書くことができる。 ●長文や思考を要する課題では、読み取りが浅く、早々に諦めてしまいがちである。 ●自分の意見をいう場では即答できなかったり、単語だけで答えたりする生徒がいる。	①長文を読み解き、粘り強く考えることができる。 ②自分の意見を適切に表現できる。	①読書の推奨。月1回の読書週間を設けて、本を最後まで読んだり、多くの本に触れさせたりする。 ②授業中に音読・なぞり読みを積極的に行い、課題解決に必要な情報にアンダーラインを引かせる。(国語力向上タスクフォース参照) ③帰りの会で、日直のスピーチに対して、質疑応答をさせる。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○発問に対して、真面目に考えて意見を述べることができる。 ○家庭学習では、指示された課題を確実に行う。 ●授業では指示されたことに素直に従うものの、自分から質問することは少ない。 ●指示されたこと以外に自ら学習に取り組むことは少なく、学習に対して受け身である。	①授業内容を理解し、自ら疑問やより深く知りたいという意欲を持って授業に参加する。 ②自分から進んで意欲的に学習や課題に取り組む。	①テスト前には、具体的な学習計画を立て、記録させて振り返りができるようにする。 ②PBSを基本とした学習支援をし、自主学習ノートなどを用いて、自分の課題にあった学習に自主的に取り組むことができるようにする。 ③学習の手引きを使用し、家庭学習の取り組み方の参考にさせる。			